米どころ幸手の田植え体験

6月3日(金)八代小学校の3年生から6年生児童が、地元農家の船川由孝さんのご指導のもと、学年ごとに田植え体験をしました。

最初に今回の稲の特徴などを含めた植え方を教わります
田植えをしている最中も子どもたちを見て丁寧に指導してくれます

転びそうになりながらも丁寧に稲を植えていきます

田んぼの冷たさを感じながらピース

本座　悠登　さん

あまり経験できないことを体験をさせてもらってうれしかったです。
成長した後の稲を刈って、ご飯を食べるのが楽しみです。
これから、田植えをやる機会があったら役立てたいです。

後上　柚乃　さん

小学校生活最後の田植えだったから、とても楽しくできました。
学校の隣の田んぼなので、成長を見るのが楽しみです。
従妹が田植えをやっているから、手伝いができそうです。

八代小学校　冨澤敏夫校長先生の言葉

学校応援団のみなさんのご協力を得て、3年生から6年生までの児童による田植え、稲刈り体験をとおし、地域のみなさんに対し、感謝の気持ちと食に関する関心を高めることを目的に実施しています。児童は、秋には稲刈りをして、感謝とともに自分たちで植え見守ったお米をいただくことを楽しみにしています。また、お米一粒一粒に自分たちの思いはもちろん、関わってくださったみなさんの思いを感じてほしいと思います。

みんな真剣に稲を植えていきます

きれいに植え終わりました

あともう少し！がんばろう！

八代地区で農業を営む　船川　由孝　さん

地元の子どもたちに農業の大切さを学んでほしい。そしておいしいお米がどういう風にできているのか学んでほしいという気持ちでこの活動を続けています。
また、農業をやめてしまっている人もいるため、この体験をきっかけに農業の道に進みたいという子が出てきたらうれしい。
秋には、稲刈り体験をして子どもたちが育てたお米を食べてもらいます。
毎年おいしそうに食べてくれているところを見ていると、生産者としてとてもうれしく感じます。
また、この農業体験では、子ども達に田植えや稲刈りを教える代わりに子どもたちからたくさんの元気をもらっています。

田植えの様子
Youtube ▼